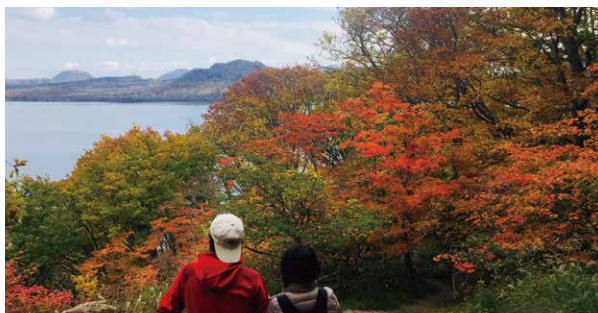


## 10 和琴半島自然探勝路



和琴半島は、日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖に突き出していますが、もともとは火山活動によって生まれた島が陸続きになってきました。この半島を1周する2.5kmの自然探勝路では、トドマツの森、カツラの巨木やオヤコツ地獄などを楽しむことができます。オヤコツ地獄は、半島の先端にある噴気孔で、赤い岩壁の割れ目から蒸気が噴き出しています。このエリアの地熱活動が生み出す熱は、周辺の森の生態系に直接影響を及ぼしています。野の花が豊かに育ち、夏には北海道東部では他に見ることのできないミンミンゼミが鳴き、冬には雪に覆われない土の上でコオロギの仲間であるマダラスズが活発に活動しています。

その他に注目すべき野生生物はクマゲラです。日本の先住民アイヌの人たちは、クマゲラを「舟を彫る神」として崇拝していました。言い伝えによると、アイヌの人々は、クマゲラによって木の幹に作られた穴に着想を得て丸木舟(伝統的なアイヌのカヌー)を作ったとされています。

和琴自然探勝路は約1時間のコースですが、途中起伏の大きい場所もあります。半島は時計回りでも、反時計回りでも巡る事ができますが、オヤコツ地獄付近の長い階段を考えると、時計回りの方が比較的楽なコースと言えるでしょう。探勝路入口には天然の露天風呂があり、歩いた後はここでリラックスする事もできます。

距離	[一周] 約2.5km	時間	[一周] 1時間
----	-------------	----	----------



グレード 1 1~2時間の気軽な散策  
動きやすい服装で歩きましょう。

### アクセス

川湯エコミュージアムセンターからの行き方(自動車の場合)

●川湯エコミュージアムセンター→道道52号線・国道243号線(約30分)→和琴半島

### 注意事項

- 探勝路内にある展望デッキからは飛び降りないようにしましょう。
- 危険木や貴重な植物がありますので、探勝路を外れて湖に降りないようにしましょう。

